

木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議経過要旨

会 議 名		平成２９年度第１回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
日 時		平成２９年７月３日（月） 午後２時～午後４時	場 所	木津川市役所 ５階 全員協議会室
出 席 者	委 員	【第１号】 ■川崎 あき委員 ■新谷 雅子委員 【第２号】 □真山 達志委員(会長) ■今里 佳奈子委員(副会長) 【第３号】 □市川 浩之委員 ■中村 香苗委員 ■川森 昌代委員 ■北島 宣委員 ■井上 靖委員 ■迫田 隆委員 ■姜 京希委員 □七條 歩委員 ■佐脇 貞憲委員 ■西村 正子委員 ■三上 かず子委員 □加藤 千景委員 ■梅本 好成委員 □佐藤 啓子委員 ■大倉 竹次委員 □山本 勇人委員		
	事 務 局	福島政策監、武田マチオモイ部長 奥田学研企画課長、茅早学研企画課課長補佐 藤木企画政策係主任、樹杉企画政策係主事		
議 題	１．開会 ２．あいさつ ３．議事 平成２８年度創生事業の効果検証 ①地方創生加速化交付金 ②地方創生推進交付金 ③ふるさと応援補助金 ４．報告 平成２９年度の取組み事業について ①地方創生推進交付金 ②ふるさと応援補助金 ５．閉会			
会 議 結 果 要 旨	１．開会 事務局から開会を宣言した。 ２．あいさつ 開会に先立ち、市長から挨拶があった。 ３．委員紹介			

	<p>事務局から、委員の紹介があった。</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 会長を真山委員、副会長を今里委員として選出した。</p> <p>5. 議事 会議録の署名委員として北島委員を指名した。 平成28年度創生事業の効果検証</p> <p>①地方創生加速化交付金 「資料1 地方創生加速化交付金事業実績」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>②地方創生推進交付金 「資料2 地方創生推進交付金事業実績」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>③ふるさと応援補助金 「資料3 木津川市ふるさと応援事業補助金事業実績」に基づき、事務局から報告があり、承認した。</p> <p>6. 報告 平成29年度の取組み事業について</p> <p>①地方創生推進交付金 「資料4 平成29年度地方創生推進交付金取組み事業」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>②ふるさと応援補助金 「資料5 平成29年度ふるさと応援事業」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>7. 閉会</p>
<p>会議経過要</p> <p>◎会長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 市長あいさつ 「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、木津川市創生事業に取り組んできた。主な事業内容として、一つ目に、学研都市としての特性を活かし、都市近郊農業の振興及び活性化を図るため、市内農業者や経営者、学識者、消費者、クリエイター及び行政から組織する「農で頑張る協議会」を立ち上げ、大丸京都店において「京の味めぐり・技くらべ展」</p>

	<p>を6日間、また、東京都板橋区大山商店街において、木津川市フェアを2日間開催し、多くの来客があったことに加え、出展者に小売店から商談の連絡があるなど、市内製品の販路拡大に繋がった。</p> <p>次に、まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の創出と支援を図るため、昨年、11月6日から20日までの15日間、山城地域で4か所のエリアを舞台に木津川アートを実施した。木津川アートは、5回目を数え、市民のみなさまの積極的な参加・参画により、開催地域の活性化につながる、また、市の魅力、現代アートの魅力、地域の魅力を広く発信できるまちづくり事業になったと考えている。</p> <p>最後に、市の魅力発信を高めるための事業や、市民のみなさまと協働したまちづくりを進めるため、市内で頑張る個人・団体から、様々な知恵や発想、郷土愛等を活かした新たな事業の提案を募集し、提案者が主体となって取り組む事業に対し、補助金を交付する「ふるさと応援事業補助金」では、南山城古寺巡礼バスツアーや加茂駅での観光案内所、また、子育て支援施策や公共施設等を活用した情報発信事業等、9つの事業支援を行った。</p> <p>いずれも事業成果として、当初の目標を達成しており、引き続き、支援に取り組みたいと考えている。</p> <p>市の総合戦略を推進するため、みなさまとともに、新たな施策展開に取り組み、「住みたい。住み続けたい。住んで良かった」と実感いただけるまちづくりに取り組んでいく。</p> <p>3. 委員紹介 会議結果要旨のとおり</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 会議結果要旨のとおり</p> <p>5. 議事 平成28年度創生事業の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地方創生加速化交付金 ②地方創生推進交付金 ③ふるさと応援補助金 <p>【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答） 質疑なし</p>
--	---

6. 報告

平成29年度の取組み事業について

①地方創生推進交付金

②ふるさと応援補助金

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答）
質疑なし

ふるさと応援事業取組み紹介・報告

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答）

○KIZU-NA 紡ぐプロジェクトについて、子育てに関する口コミサイトを開設し、周知、広報活動により会員数が増えてきた。産前産後の女性の孤立回避や産後鬱回避を目的とした講座を実施している。継続して事業に取り組めるよう努力していく。

○婚活事業について、独身の方を対象としたワークショップを実施し、婚活イベントのニーズを把握し、当尾の郷会館で婚活イベントを実施した。今後は、花嫁行列の実施や婚活イベントを継続する。

○京都山城古寺巡礼秘宝バスツアーは、京田辺市、宇治田原町、笠置町との連携事業である。バスツアーの利用者からは、魅力的な古寺を知る良い機会となったなど好評であった。しかし、食事場所が少ない等の意見も頂いており、今後の問題点として認識している。

○加茂駅 KIOSK 跡地を活用した観光案内所は、本年1月21日にオープンし、観光案内業務を実施している。加茂駅では、木津川市だけでなく和束町や南山城村に行かれる観光客が増えてきている。また、海外からの観光客も増えてきており、対応できるよう努めている。

新たなおみやげとして、石仏サブレなど開発し、賑わいの拠点となるよう努めていく。

○加茂駅の観光案内所は、吊り店があり、親子で行っても楽しいところであった。市内の観光パンフレットが設置してあり、ありがたい。

木津川市に転入の際、報告のあった事業をチラシなどで周知、広報してはどうか。

→転入者への周知について、担当課と協議し、進めたい。

○子育て世帯でも、英語を話せる方は多く、観光案内の英語対応などに協力できるのではないか。地域の方とのつながりが今後、賑わいを創出するき

	<p>っかけとなる。</p> <p>○転入者は、地域の名称が分からないので、案内の際は、丁寧に説明して欲しい。また、母子手帳の手続きの際にも、さまざまな情報をチラシなどで案内して欲しい。</p> <p>→丁寧な対応を心掛ける。</p> <p>○キチキチプロジェクトの取組み状況は。</p> <p>→キチキチプロジェクトについては、市が所有する旧商工会跡を整備し、情報発信基地として活動されている。子育て世帯が、気軽にあつまれるよう、フローリングルームを整備され、子育てグループのイベント会場や、アーティストのワークショップ会場、子育てママさんのための書道教室など実施されている。</p> <p>カフェでは、木津川市産の野菜や加工品を販売されており、地産地消を通じた地域とのつながり、賑わい創出に取り組まれている。</p> <p>○南都銀行では、地域情報発信コーナーを設けている。今後、木津川市コーナーを設置するので、配架するチラシを提供いただきたい。</p> <p>7. 閉会</p>
--	---